

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価に関する取扱い

1 日中サービス支援型共同生活援助について

(1) 概要

日中サービス支援型共同生活援助は、障害者の重度化・高齢化に対応するために平成 30 年 4 月に新設された共同生活援助の一類型である。短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されている。

(2) 対象者

主な対象者は、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することができない障害者（日によって利用することができない障害者を含む）である。なお、障害支援区分による制限はない。

2 広島市障害者自立支援協議会地域部会での報告及び評価

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準」第 213 条の 10 では、日中サービス支援型共同生活援助事業者は、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質を確保する観点から、定期的に地方公共団体が設置する協議会等に対して事業の実施状況等を報告し、評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴くことと定めている。

広島市においては、以下のとおり取り扱う。

(1) 報告を行う協議会等

広島市障害者自立支援協議会地域部会（以下「地域部会」という。）にて年 1 回以上報告を行う。

(2) 対象事業所

新規指定から 6 か月を経過した事業所とし、(3)ーアにより設定された地域部会開催時期を踏まえて障害自立支援課が指定する。

(3) 地域部会への報告及び評価（イメージ図は別紙のとおり）

ア 地域部会事務局（各区基幹相談支援センター。以下「事務局」という。）は、報告及び評価を実施する地域部会の開催時期を設定し、その予定時期を障害自立支援課へ報告する。

障害自立支援課は、事業者へ地域部会への出席及び様式 1「事業実施状況報告書」の作成・提出を依頼する。

イ 障害自立支援課は、アにより提出された様式 1 を事務局へ送付する。

ウ 事務局は、イにより送付された様式 1 を、地域部会開催日より事前に出席予定者（以下「評価者」という。）へ送付する。

エ 事業者は指定された地域部会に出席し、事業の実施状況等を報告する。

地域部会は、報告内容に対し、様式 2「事業内容評価票」により評価、要望、助言等を行う。

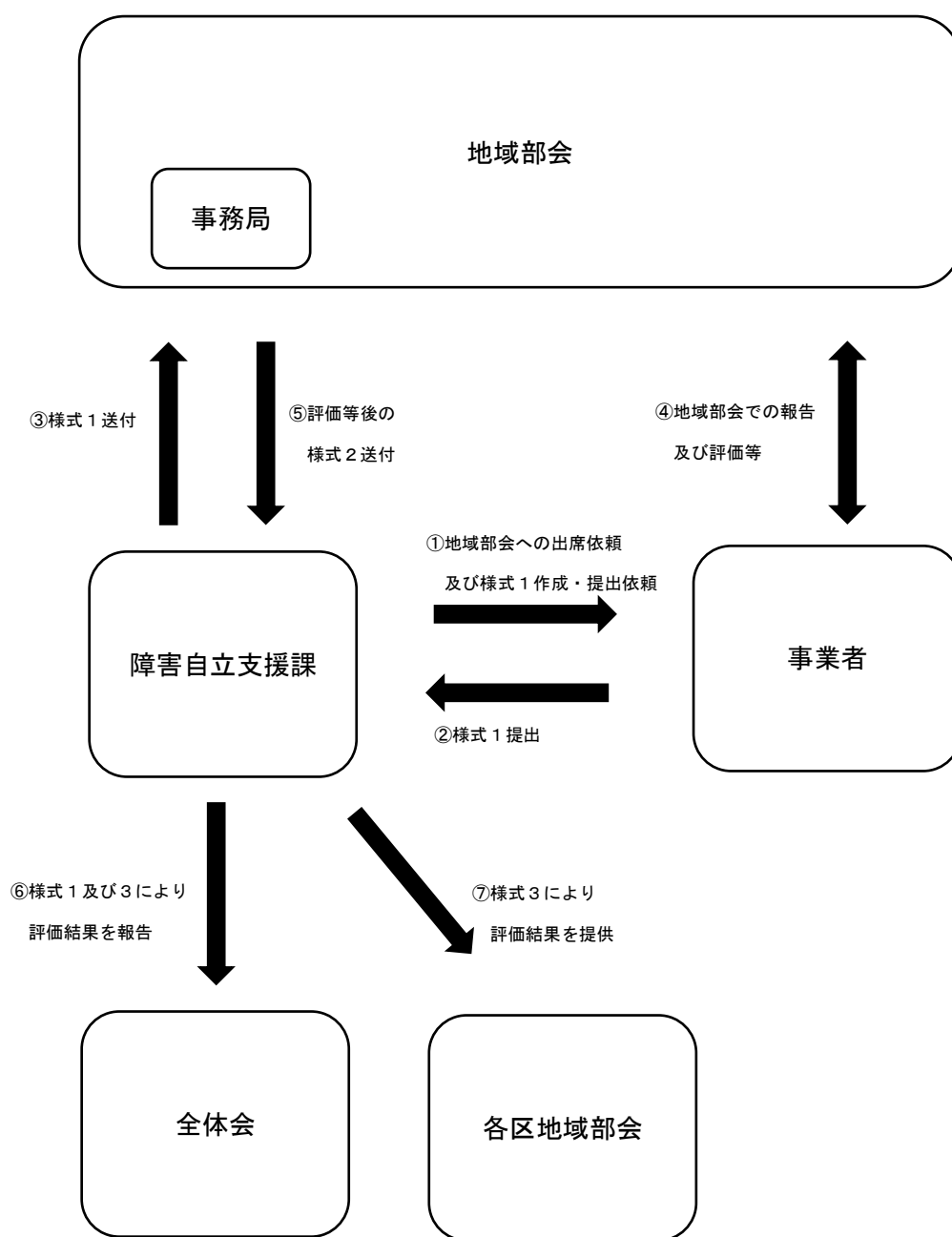
オ 事務局は、各評価者から提出された様式 2 を障害自立支援課へ送付する。

カ 障害自立支援課は、オにより送付された様式 2 を取りまとめ、様式 3「事業内容評価等結果」により当該事業者に提示する。

キ 障害自立支援課は、原則、実施年度において全ての対象地域部会開催後、直近の広島市障害者自立支援協議会全体会にて、様式 1 及び様式 3 により報告及び評価結果を報告する。

また、障害自立支援課は、様式 3 により結果を各区地域部会にも提供する（この際、事業所名等事業所を特定できる情報は表示しないものとする）。

広島市自立支援協議会地域部会での報告及び評価のイメージ



日中サービス支援型共同生活援助事業所及び報告・評価実施日一覧

所在区	指定年月日	事業所名 (法人名)	共同生活住居	評価実施日
中	R4. 4. 1	グループホーム S A - N - P O (三歩) 本川町	グループホーム S A - N - P O (三歩) 本川町 B グループホーム S A - N - P O (三歩) 本川町 A	R6. 12. 17
西	R3. 9. 1	グループホーム りらくす 南観音	グループホーム りらくす 南観音 1 グループホーム りらくす 南観音 2	R6. 9. 9
安佐南	R4. 3. 1	グループホーム りあん	グループホーム りあん	R7. 1. 27
	R5. 5. 1	グループホーム りらくす 伴	グループホーム りらくす 伴 1 グループホーム りらくす 伴 2	R7. 1. 30
	R6. 2. 1	グループホーム のんびり	グループホーム のんびり	R7. 1. 20
安佐北	R2. 8. 1	ソーシャルインクルーホーム 広島狩留家町 2 号館	ソーシャルインクルーホーム 広島狩留家町 2 号館 I ソーシャルインクルーホーム 広島狩留家町 2 号館 II	R6. 9. 5
	R4. 8. 1	グループホーム にこり・ほっと	グループホーム にこり・ほっと 2 階 グループホーム にこり・ほっと 3 階	
佐伯	H29. 5. 1	グループホーム ひといき	ひといき 利松 ひといき 美鈴園 ひといき 八幡	R6. 9. 19
	R3. 6. 1	ソーシャルインクルーホーム 広島坪井	ソーシャルインクルーホーム 広島坪井 I ソーシャルインクルーホーム 広島坪井 II	R6. 11. 21
	R5. 11. 1	グループホーム つばき 五日市	グループホーム つばき 五日市	R7. 1. 16

各地域部会での報告・評価にあたっての説明及び注意事項

評価者に対しては、以下の1によりグループホームの概要を説明した後、2により様式2の評価票の各項目とポイントについて、日中サービス支援型共同生活援助の創設の経緯や趣旨を踏まえた説明を行う。最後に、3のとおり評価者への注意喚起を行う。

(※1、2の説明の際には、別添1、2の資料等を適宜参考資料として使用する)

1 共同生活援助（グループホーム）の概要

(1) 対象者、支援内容

一定の介護が必要であり、地域の中での生活を希望する方を対象に、主に夜間において、食事や入浴等の介護や相談等の日常生活上の援助を行うサービス。

(2) グループホームの類型

共同生活援助（グループホーム）は、3つの類型に分かれており、事業所の従業員により介護サービスが提供される「介護サービス包括型」、介護サービスを外部の居宅介護事業所に委託する「外部サービス利用型」、事業所の従業員により常時の介護サービスが提供される「日中サービス支援型」がある。

2 各評価項目と評価のポイント（枠内）についての説明

(1) 利用者の受入

【評価ポイント】

日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。

- ・ 「日中サービス支援型」は、障害者の重度化、高齢化が年々進む中で、重度障害者に対応できる体制を確保するために、平成30年度に創設されたグループホームの新たな類型。
- ・ 重度化、高齢化のため、日中活動系の障害福祉サービス等を利用することができない、又は日によって利用することができない障害者を主な対象としており、昼夜を通じて常に職員が配置されている。

→ 事業所から報告される利用者の年齢や障害支援区分の内訳などを踏まえ、評価をしていただく。

(2) 支援の実施

【評価ポイント】

- ・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の生活上の支援を行っているか。
- ・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。
- ・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。
- ・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。

- ・ 日中サービス支援型のグループホームでは、利用者のニーズに応じて、日常の介護はもとより、利用者が充実した生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援を行う。
- ・ 住居内でも利用者が日中活動を行うことができるように活動のメニューを組んでいるが、利用者の意向に反して、他事業所での日中活動サービス等の利用を制限することのないよう留意するとともに、利用者が外に出て日中活動サービスを利用できるように、他の事業所と緊密な連携を図ることが求められている。
- ・ 評価のポイントの3つ目に、「強度行動障害のある者への支援体制」を確保しているかどうかという項目について説明。「強度行動障害」とは、自分の体を叩いたり、危険につながる飛び出しなど、本人の健康を損ねる行動や、他人を叩いたり物を壊す、大泣きが何時間も続くなど、周囲の人に影響を及ぼす行動が高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことをいう。
- ・ また、4つ目には「利用者の心身の状況に応じた医療ケア」を行っているかどうかという項目について説明。重度の障害者には、呼吸や栄養摂取、排泄など、日常生活において医療機器や医療行為を必要とする方がいる。
- ・ このような重度の障害のある方については、専門的な研修を修了した職員の配置や、医療機関等との連携等により、十分な支援体制を確保する必要がある。

→ 職員の資格や配置、事業所での健康管理の実施状況等を踏まえ、評価していただく。

(3) 地域に開かれたサービス

【評価ポイント】

地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。

- ・ 日中サービス支援型のグループホームでは、利用者が地域において、家庭的な環境の下、また、地域住民との交流の中で、自立した生活を営むことができるよう、介護や日常生活上の援助を行うことが求められている。

→ 事業所の地域との交流状況等を踏まえ、地域住民との交流の機会が確保できているかを評価していただく。

(4) 地域移行等の促進

【評価ポイント】

施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。

- ・ 日中サービス支援型のグループホームは、重度化、高齢化のため、日中活動系の障害福祉サービス等を利用することができない、又は日によって利用することができない障害者を主な対象としていることから、障害者の入所施設や精神科病院に入っている方の地域移行の促進や地域生活の継続に向けて取り組まれることが求められている。

- ・ また、グループホームに短期入所（ショートステイ）を併設し、地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供する等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されている。

→ 事業所として行っている取組みが、施設等からの地域移行の促進及び地域定着に効果的なものであるか、評価していただく。

(5) その他自由記載欄（全体的な感想など）

その他、要望（当該グループホームに今後期待すること）や助言、感想等について記入していただく。

3 報告・評価にあたっての注意事項

評価の場で抱いた感想や評価の内容等は、外部に出回ることにより、評価者が意図しない形で事業所の評判低下を招き、事業所運営に支障をきたす可能性があるため、報告・評価の内容について、いたずらに噂話を広めることのないよう注意すること。

また、評価終了後に、記入された評価票は地域部会事務局（基幹相談支援センター）で回収する。

4 参考

前回、広島市障害者自立支援協議会全体会で報告・評価を実施した際のタイムスケジュール等について以下枠内に記載していますので、事業所との打ち合わせや当日の進行等の参考にいただければと思います。

【タイムスケジュール】

- ・ 事務局から事前説明
- ・ 4事業所の報告、評価を45分程度で実施
- ・ 1事業所あたり5分以内で事業報告をし、各事業所の説明が終わる毎に3分程度、質疑応答を実施
- ・ 全事業所の報告・質疑応答が終わった後、全体を通しての質疑応答（10分程度）

【事業所へ事前に伝達した事項】

時間の制約上、報告書全ての内容を説明するのは厳しいため、評価のポイントに関係する箇所に内容を絞り、最低限、以下の項目について説明していただくよう依頼した。

- ・ 当該事業を行う動機、目的
- ・ 当該事業の運営方針
- ・ 利用者の状況
- ・ サービスの内容、事業所の特色等

共同生活援助（グループホーム）の概要

障害のある方が地域住民との交流が確保される地域の中で、家庭的な雰囲気の下、共同生活を営む住まいの場

【利用者像】

- ・ 単身での生活は不安があるため、一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方
- ・ 一定の介護が必要であるが、施設ではなく地域の中で暮らしたい方
- ・ 施設を退所して、地域生活へ移行したいが、いきなりの単身生活には不安がある方

【支援内容】

- ・ 主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を実施
- ・ 利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施

【設備、立地】

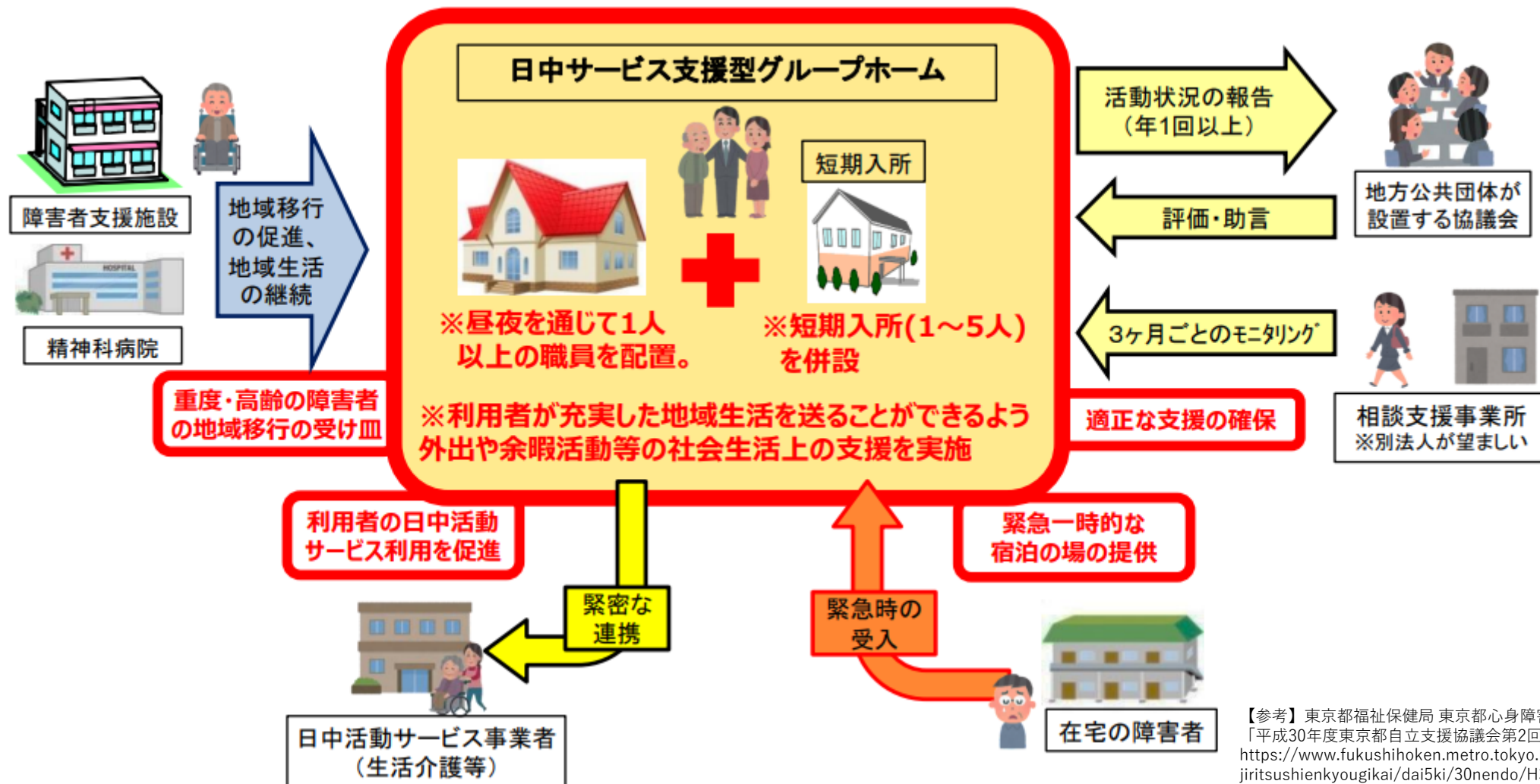
- ・ 居室及び相互に交流を図ることができる設備を設ける
- ・ 居室の定員：原則 1 人
- ・ 居室面積：収納設備を除き 7. 4 3 m²
- ・ 地域住民と交流が確保されるような住宅地に立地

グループホームの3つの類型

	グループホーム（共同生活援助）		
	（介護サービス包括型）	（日中サービス支援型）	（外部サービス利用型）
利用対象者	障害支援区分にかかわらず利用可能		
サービス内容	主に夜間における食事や入浴等の介護や相談等の日常生活上の援助		
介護が必要な者への対応	当該事業所の従業者により介護サービスを提供	当該事業所の従業者により常時の介護サービスを提供	外部の居宅介護事業所に委託

地域生活支援の中核的な役割を担う日中サービス支援型グループホーム

障害者の**重度化・高齢化**に対応するために平成30年度に創設されたグループホームの新たな類型。
短期入所を併設し、**地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場**を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待される。



(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	A
1 利用者の受入	
(評価ポイント)	
・ 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。	
評価・要望・助言	
・ 現在入所が満床で、短期入所も稼働率が100%を越えるとのことだった。重度化、高齢化という点で、精神障害の方が日中安心して過ごせる場があるということは良い事かと思うが、在宅で困っておられる身体障害の方や、重度の知的障害の方などもおられる。特に SA-N-P0 さんは看護師さんも常駐されているので医療的な対応が必要な方などの受け入れも積極的に検討していただきたい。	
・ 常勤の看護師が1名のため、今後、医療的ケアが必要な方を受け入れていくには、体制の強化が不可欠であると思う。	
・ 日中活動できるようになっている方には他サービスへのつなぎ、地域移行を考えられている。	
・ 現段階で、他の事業所への研修参加や事業所同士の連携に取り組まれているとのことと強度行動障害のような支援を受ける場所の選択肢がとても少ない方々にとって心強いと思いました。	
・ 病院との連携はもうすこし積極的に行ってほしいと思います。	
・ 協力医療機関と良好な関係がはかれているのではないかと感じました。（19名定員で15名が精神障害の方だから）	
・ 昨年の評価をうけて資格者の配置に取り組まれているのはすばらしいと感じた。また、資格取得＝支援が出来るとはとらえていないことに共感もてる。	
・ 昨年度よりも、より強く重度の方を受け入れる方針が明確になっていることがわかった。また、そのために職員の職場内外研修に積極的に取り組み、実際に強度行動障害の方を受け入れているとのこと、安心しました。	
・ 日中支援型の趣旨を理解しつつ柔軟に対応ができています。	
・ 受け入れ及び、本人の状態が良くなっての前向きな移行について、相談支援専門員の協力が不可欠です。（第3者の目から見てどうか、次の施設はどういう所がいいのかの情報提供など）計画相談をつけること、難しければ基幹・委託の協力をあおぐこと、ご検討ください。	
・ 本人及び関係者から要望、状況を確認し、適切な受け入れができるよう、行動していると感じた。	
2 支援の実施	
(評価ポイント)	
・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。	
・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。	
・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。	
・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ 色々な取り組みをされる中で、本人さんの気持ちに寄り添いながら、通過型のグループホームとして地域への可能性を広げる取り組みや計画を立てておられることは好感が持てます。	
・ 常勤の看護師を主として関係機関との連携がスムーズに出来る様取り組まれていると感じた。	
・ 外部からの講師などを招き、利用者さんのレクリエーションや身だしなみ等、本人さんの日常が昨年	

より豊かになっているように感じられました。

- ・ 看護師さんを常勤されたり、またスタッフの方のスキルなど、昨年より上がっていると思いました。
- ・ 各人に担当者がいらっしゃることで「分からないことはその担当者に聞く」と言った方法は、もしその担当者に連絡がつかない場合どうするのか不安に思いました。
- ・ “統一した支援”をするためにも一人の利用者に複数人のスタッフで情報共有されるなどはどうでしょうか。（ノートは読まない人は読まない可能性があるかもしれません。）
- ・ 通院に看護師さんが同行できるのはすばらしいと思った。
- ・ 精神保健福祉士は1名、常勤の職員をお願いしたい。
- ・ 計画されたプログラム通りすすまない場合、入居者の方が参加されない場合の支援の充実も、難しそうだな、と思った。
- ・ 利用者おひとりおひとりのニーズに合わせ、日中活動のレパトリーが充実しています。
- ・ 人員配置や、取り組みの方向性の統一など課題はありますが、今後より工夫できれば良いかと思う。
- ・ 日中支援の人員配置について、利用者さんたちの状態の重さに対して人数が少なく負担が大きいのでは。
- ・ 精神保健福祉士の雇用、もしくは受講のすすめを（助成金もあります）
- ・ 入居者の個々の状況に応じて支援を進めているが、若干、模索中の感がある。
- ・ インドネシア出身の職員が加わる事により、職員間のコミュニケーション、情報共有の難しさがあるが、今後もさらに増える（外国人の職員）と見込まれるので、更なる工夫が必要。

3 地域に開かれたサービス	
(評価ポイント)	
・ 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。	
評価・要望・助言	
・ 職員さんだけでなく、入所の方も主体的に関わっていけるような取り組みを今後も期待します。	
・ 企業との連携もできている。施設見学も検討されていて良い。	
・ 町内のイベントや清掃活動へ参加が進んでいて、昨年から大きく進歩されていてすばらしいと思いました。	
・ 非常に難しいことだが、一歩ずつ良い関係が築いていけるようにしているのは素晴らしいと思った。（会合、清掃、お祭り、地域から声がかかってくるのはすごい） 管理者が変わってもその関係性が変わらないことを期待したい。	
・ 地道な取り組みが、やがて名前で呼んでもらえる関係を生んでいくのだと思う。	
・ 町内会へ参加、行事へ参加され、交流と理解が広がり、とても良い取り組みだと思います。	
・ 日中活動へボランティアで参加いただける地域の方もおられるかと思います。	
・ 会合に利用者さんが参加できるようになると良いです。「本人参加」「当事者参加」を職員が先にあきらめてしまうのではなく、「今は無理でもそのうち行けるように」「これなら〇〇さん参加できるかも」という視点を持ち続けてほしいです。	
・ 地域との交流は始まったばかりのようだが、町内会や民生委員とも連携をとり、交流の場が広がるよう検討していただきたい。	

(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	A
4 地域移行等の促進	
（評価ポイント） 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。	
評価・要望・助言	
- 通過施設という方針を持っておられるので、今後も本人さんの気持ちに寄り添いながら、色々な可能性を模索していただければと思います。 - 個別性に合わせて地域移行へ向けて支援されていると感じた。 - つなぐ役割を担うのであれば、専門職が対応できれば良いと思った。 4段階のプロセスを踏んで移行へ進められているとのこと。またその人の気持ちに寄り添って進めていかれている様子が伝わって来ました。 - 他機関との連携を昨年よりかなり取られていらっしゃると思いました。 - 今後は具体的な移行先、またその方の生活がよりご本人の意思に沿うものになっていったかなどのお話を伺えることを楽しみにしています。 - 医療からみたとき病院→グループホームはすでに地域移行のため、その役割を果たしていることはすばらしい。 - グループホーム→他グループホーム、自宅となること（目指している）もすばらしいと思う。 - 生活基盤を整えられるように支援している - そもそも社会資源が少ない課題はありますが、いろいろな関係機関とつながりながら、“自立”した生活を幅広く考えられると良いと思います。 - しっかり取り組みをされていると感じました。 - 何人かが発言していましたが、「より本人の状態に合った場があったらつながります」「本人のニーズの変化に合わせて意向を検討します」など、言い回しや伝え方を気を付けないと（通過施設であるコンセプトは）利用者さんたちの安心感をそこなうように感じました。 - 入所者の意向をくみ、1人暮らし等へ移行するために、家族や主治医とも話し合い、計画的に進めてほしい。	

5 その他自由記載欄（全体的な感想など）

- 地域に対してのアプローチができて良いと思ったが、人員が少なく今以上に関わりを増やしていくことは、職員の負担が増え対応が大変なのではないかと思った。専門職の配置、人員の確保が必要だと思う。
- 昨年お話を伺った時と比べ様々なところで改善や進展が見られ良かったです。これからもご本人たちの意見に寄り添い支援されていかれることと思います。
- 管理者が変わっても事業所の良いところは変わらないという体制になっていけば良いなと思いました。
- 前回の意見に資格への言及が多いことが気になりました。資格はあくまでも目安のため、資格者の数が評価にならないことを期待しています。
- 施設内の引継ぎ体制等、職員間の連携の改善をしていただきたい。
- より良い支援を目指して頑張られていると思います。
- 入居されている方のこと、地域の方のこと、ショートステイ利用を希望されている方のことを第一に考えて、取り組まれている様子が伝わってきた。
- 重度の方が利用できる社会資源が一つでも多く出来ることは必要に思います。
- 街中の日中支援型のグループホームで強度行動障がいのある方を受け入れようとしてくれる所が少ないので、ぜひもう1つグループホームを作ってほしいです。（日中支援型以外のグループホームも!!）
- 街中（通過型）か郊外で滞在型か通常のグループホームまたは地域へ 通過型をどんどん巡回されるとか理想です。要望ですみません。
- 難しい支援によく取り組んでおられるという印象を受けました。シェアハウス、第2ホームなどの展開にも期待しています。
- 地域に根差したグループホームの運営は今はまだノウハウの構築中と見受けられる。今後、個々のニーズに合った運営をされていけば、貴重な社会資源になられると思います。

(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	B
1 利用者の受入	
(評価ポイント)	
・ 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。	
評価・要望・助言	
・ 利用者の年代を見ると、高齢化がすすむようにも思うので、その点を見据えた方が良いのではなかと思う。 ・ 強度行動障害のある方の受け入れが少ないと思う。受け入れられるだけの力量のあるスタッフが揃うと良いと思う。 ・ 地域移行を進めるため、日中支援型から一人暮らしがハードルが高いのであれば、他の GH へのステップアップなど、どのようなことが可能か利用者に提示できるとよい。 ・ 現在、満床という事で、必要とされている方に対応できていると思います。 ・ 日中外に出かけている利用者が多いと思われますが、重度の方の受入れを考えていく必要があると思われます。 ・ 年齢も障害支援区分、障害種別も幅広く偏りなく受け入れをされていると思う。	
2 支援の実施	
(評価ポイント)	
・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ 日中活動サービスの利用、余暇活動、外出支援などが評価のポイントにはなっているが、日常的な支援がどのように行われているのか知りたい。 ・ 本人さんの要望は、日常の中で聞きとるものだと思うので、どうキャッチし、職員で共有されているのか知りたい。 ・ 報告を聞く中で、健康管理は丁寧に行われていると思ったので、継続していただきたい。 ・ 利用者の年代を考えると、家族という人たちが、親に限らず、兄弟、子、親戚という方もおられると思うので、ざっくばらんに生活を知っていただき、交流する形でよいのではないかと考えた。 ・ 研修修了者のみでなく、全社員が研修を受けられる支援体制が必要。 ・ 家族会や新聞を考えているようだが、長く続けていける事をしてほしい。 ・ 外出や季節のイベント等、充実していると思う。 ・ 家族会の結成がなくとも、折りふれ、ホーム内での様子を見てもらう機会をつくると良いのはと思う。 ・ 今は医療的ケアを必要とされている方は0人とのことですが、現入所者の方が医療的ケアが必要になった場合など、看護師の方が1人でたりるのだろうか、と思いました。 ・ 家族会について、利用者のイベント時に家族も参加し、自然な形で家族同士が家族単位で交流できる	

とよいのではないかと。

- ・ 活動は様々なものがある事がわかり、充実していると感じるが、個別支援や特性に合わせた理解ある支援がどのくらいできているのか見えてこなかった。
- ・ 強度行動障害修了者が増えたとのことで、努力されていると思った。
- ・ 入居前にしていた趣味などを GH に入居した後も続けていけたりできれば、入居者さんの生活が楽しい物になると思います。
- ・ 加齢にともない、外出が難しい方の事業所内での支援を充実させて頂くと、部屋にこもることが減るのではないかと。
- ・ 病院付添、訪問看護、リハ、歯科等も利用されている方もいて、将来的に考えても利用者さんをサポートしやすい環境と思う。
- ・ グループホームが余暇で地域の行事やサークル等も情報収集されているのはすごいと思う。
- ・ 様々な研修を受けられた職員を配置されており、関心しました。
- ・ 日中活動以外の余暇に関するニーズ把握、地域とのつながりによって、障害の重度化・高齢化に備えた支援体制の検討が積極的にすすむと良いと思いました。
- ・ 医療的側面からの情報により、日ごろの目配り、支援方法の検討ができることは、事業所独自の強みだと思います。

3 地域に開かれたサービス

(評価ポイント)
・ 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
・ なぜ施設にとって地域とのつながり、交流が重要と考えるかということをとらえないと、忙しい日々の中動けないと思う。そのことをまず職員間で議論され、それから何をするか考えられたらどうかと思った。 ・ 体調に異変をおこしやすい人たちなので、それも考えながら地域と交流をしてほしい。 ・ 地域行事への参加はとても良いことだと思うが、反面、高齢、重度障害のある方たちは感染症等には弱いので、なかなか配慮が必要だと思う。 ・ 町内会入会はこれからとのことですが、民生委員さんなどにも知っていただくと、交流の場も増え、災害のときなど不慮の事案にも地域の方の協力を得やすいと思います。 ・ 地域行事への参加のため、まず GH がどのようなところで、どのような活動をしている、どのようなことをしたい等を、あいさつまわりなどで伝えてはどうか。 ・ 町内会に入らずとも、地域で開催しているイベントに参加の機会などもてるのではないかと。 ・ GH 側からばかりでなく、地域の人に GH に来てもらう方法も考えてみては。 ・ 地域のイベント・行事に目を向け、そこへの利用者自身のニーズを把握する取組みをどんどん進めて頂きたい。 ・ 年をとっても施設の中だけですごくなくていいように、地域包括と顔つなぎをしたり、60 歳以上の方などが地域のイベントに参加できるもの（100 歳体操、ウォーキングなど）も聞いてみたらよいと思う。 ・ 重度障害者はまだ地域にたくさんお住まいで、家族も不安を持っているため、地域の障害者家族向けにイベントや交流会などしてもおもしろいかもと思いました。

(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	B
-----------	---

4 地域移行等の促進
（評価ポイント） 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。
評価・要望・助言
- 高齢障害、重度障害の方の地域移行は難しいと思うが、利用者の希望を聴きつつ対応されているのは良いと思う。 - GHで生活していた方が1人暮らしは難しい部分が多いと思いますが、希望される方が今後いれば、支援していただければと思います。 - 入所時から今後のことについて、家族も含めて話し合い、その人の長期目標に向かって支援があればよいのではないかなと思う。 - 一人暮らしに向けた活動を取り入れる等できそう。 - 地域にGHがあるのは貴重なので、この場所であるからこそ地域となじんでいてほしい。 - 入所者さんの希望にもし一人暮らし等の希望が出てきたら、積極的な地域への移行をうながしてもらうことで、新たな受け入れもしやすくなると思います。 - 施設に見学に来ていただく等、グループホームに対する理解を深める取り組みができれば良いと思いました。 - 日中支援型GHでの生活を通じて、地域での一人暮らし等を送れる基盤づくり、実績がうまれると、今後のグループホーム選択のニーズは広まると思います。

5 その他自由記載欄（全体的な感想など）
- 障害のある人の豊かな生活を支えることはとても大変なことだと思うが、いろいろ工夫されながらがんばっておられると感じた。 - 緊急時の受け入れについては、課題だと思う。 - 開始後3年でここまで個別支援にこだわってサービス提供を実施されていることに地域の相談支援専門員として敬意を表するほかありません。 - 看護師常勤が良いと思います。 - 地域交流は1度つながれば続くと思います。まずは知ってもらうこと、災害時のこともあるため、早く地域とつながってほしいと思います。 - 日中における支援の余暇活動が豊富で、利用される方の日常がうるおうように感じた。 - 日々たくさんの業務の中、安心、安全そして楽しさも提供されており、このまま地域に根付いてほしいと思いました。

(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	C
1 利用者の受入	
（評価ポイント）	
・ 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。	
評価・要望・助言	
・ 強度行動障害のある利用者や支援区分5～6の方の受入を積極的に取り組まれている。 ・ 身体障害、身体機能の低下した際の支援ができるよう障害者用トイレ、機械浴の導入、バリアフリーのフロア等、ハード面を整えている。 ・ 60歳代の利用者に関して障害福祉関係者だけでなく、介護保険、医療関係者との連携にケースごとでの関わりを持っておられる。 ・ 今後のさらなる高齢化や重度化への対応として、医療面の体制、主に看護師の確保や、主治医との連携、訪問診療、訪問看護ステーションとの連携に、引き続き努めていただきたい。 ・ 区分が高く、身体介護が必要な方を受け入れるための人員体制（夜間1フロア2名体制）や設備（バリアフリー、トイレ、機械浴など）が整えられていることが分かった。	

2 支援の実施	
（評価ポイント）	
・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ 日中活動する部屋が別にあればよいと思いました。また、日中の活動内容ももう少し種類が多いとよいと思いました。 ・ 買い物同行、買い物代行の支援を利用者の希望に沿うよう職員配置等の工夫をして取り組まれている。 ・ 重度化により外出が困難な利用者に対しての日中活動の提供は、ニーズがないのかもしれないが、昨年と同じプログラム（ゲーム、塗り絵、折り紙）のため、本人の状態や嗜好、興味に応じたバリエーションがあってもよいと思う。 ・ 全体プログラムは季節を感じるような催し物や畑などの資源を活かして取り組んでおられる。 ・ 夜間帯にも職員を各階2名ずつ配置し、重度化対応の支援として手厚いと感じた。	

- ・ 50代、60代の入居者も多いため、障害特性への支援に加えて、介護予防の観点（身体機能の維持、認知機能の低下予防）での支援も今後検討いただけると良いと思う。
- ・ 郊外山間部に位置するため、買い物や受診先が遠方であるが、施設職員による同行や移動支援を利用することによって、外出等の制限がなく生活できている。
- ・ 日中の過ごし方についても、利用者の意向に応じて日中活動サービスの利用や施設内外での余暇活動を支援している。
- ・ 看護師の配置がないため、入居者の重度化・高齢化によって医療ケアが必要となる状況に備えて、引き続き協力医や訪問看護などとの連携体制の構築に取り組んでいただきたい。
- ・ 強度行動障害支援者養成研修・実践研修修了者が2名配置されており、その他の職員の対応力向上のための研修会を開催するなど、強度行動障害のある方への支援体制の確保に努めている。
- ・ 外出については社会資源の確保が困難であるが、今後支援者で対応できる機会の確保について検討してもらいたい。
- ・ 強度行動障害支援者の研修を受けている支援員が2名で対応しているが、他業務がある中での支援や指導は難しいのではないか。今後は研修を受ける支援者を増やすことを検討してはどうか。
- ・ 入居者の高齢化や重度化によって、医療関係者や相談支援の事業所と適宜連携していた。今後も利用者の状況を確認しながら継続してもらいたい。
- ・ 日中は作業所へ通所されている方や重度の方もおられるためか、利用者同士の交流の機会については、あまり無いように感じた。
- ・ 食事の時間以外に、利用者同士で交流できる機会が施設内で増えると良いと思う。

3 地域に開かれたサービス	
（評価ポイント）	
・ 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。	
評価・要望・助言	
・ コロナが5類になったので、もう少し積極的にされてもよいかと思いました。 ・ 昨年度から地域交流の場として取り組まれている移動販売が地域住民にも定着していることは素晴らしい。 ・ 野菜作りで近所の方との交流を持たれていること、地区社協定例会への参加など、地域のコミュニティとの関わりの継続に努めて頂きたい。 ・ 共同生活の場であるため、感染予防等で家族面会等が難しい施設もある中、家族の面会受入れの柔軟さはとても良いと思う。 ・ 災害時には地域での相互の協力体制が重要と思われるので、日頃からホームの様子や状況を、地域の方々に知っていただく機会を作る（地区社協定例会なのか、自治会が良いのか、避難所になる保育園なのか）ことや地域防災組織との協力体制を進めてはどうでしょうか。 ・ 職員が狩野家地区社会福祉協議会の定例会に毎月出席しており、ホームが地域に受け入れられていることが分かった。 ・ コロナの状況にもよるが、状況に応じて地域との関りを継続していただきたい。 ・ 今回は地区社協との関りについて話をいただいたが、地区の民生委員との連携も検討してはどうか。民生委員が地域住民とのつながりも強ければ、入居者への理解も進むのではないかな。	

(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	C
-----------	---

4 地域移行等の促進	
(評価ポイント)	
・ 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ 入居者の希望に沿って、日中活動系サービス、社会参加の場につながることを支援している。 ・ 退所者の状況を伺って、ゴミの分別や清掃、清潔保持のスキルを付けること、日常の習慣づけの支援も、日々の生活上の小さな取り組みかもしれないが、重要な移行支援と感じました。 ・ この１年間でホームから共同住宅への自立を支援した事例が１件あり、引き続き個々の利用者の特性や希望に合わせて自立に向けた支援を提供していただきたい。 ・ 地域移行については、やむを得ない事情での退所が中心であった。平均区分も高く、地域移行は難しいケースが多いことは理解できるが、各利用者が自立に向けてどのように支援をしているかも報告してもらいたい。 ・ 地域移行を考える上では、まず地域と関わる機会（行事等）を増やしていくことから検討が必要だと思う。	

5 その他自由記載欄（全体的な感想など）	
・ 施設内外は清潔で清掃が行き届いている。入浴対応での感染対策なども、丁寧にされているのが分かった。 ・ ささやかな誕生日のプレゼントなども渡されており、雰囲気づくりをされている印象を受ける。 ・ 災害時の想定についても、色々と検討されており、避難訓練も水害を予想して行われていた。	

(様式 3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和 6 年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	D
1 利用者の受入	
(評価ポイント)	
・ 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。	
評価・要望・助言	
・ 看護師の配置の問題もあるかと思うが、医療依存度の高い方の受入れ基準が明確でない印象を受けた。 ・ 障害支援区分が 4 以上の方が全体の 7 割以上なので、重度化を意識した受入れ体制に向けた努力がうかがえた。 ・ 看護師が夜間は不在のため、夜間の対応が必要な方の場合は受け入れが難しいとのことだが、体制的に対応が可能であれば重度の方を受け入れていきたいという意向がある。 ・ 重度の方の受け入れについても今後は検討されとのことと期待している。ただ、どこまでなら対応可能なのかが分かりづらく、ケースバイケースになるのかな、と思った。 ・ 周年際について、高齢のご家族にも参加してもらえよう送迎付きにされていたり、工夫がみられる。それがどこまでご利用者、ご家族の声を聴く機会につながり、運営に反映されるのかももう少しりたかった。 ・ 積極的な受け入れをしているかどうかは分からなかったが、体制としては整っている印象を受けたので、これからに期待したい。	
2 支援の実施	
(評価ポイント)	
・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ 現在、強度行動障害のある方は入居されていないが、強度行動障害のある方の受入れに向けた職員配置の努力はうかがえた。 ・ 見学时にほとんどの入居者は外出しておられ、住居内で生活を完結しているような印象はなかった。ただ、利用者の意向に沿った日中活動ができているかどうかという点については、実績としてはまだ不十分な印象を受けた。 ・ 今年から家族参加型の行事をされたとのことでしたが、写真や映像等で見せていただければイメージが付きやすかったです。 ・ 日中活動サービスを利用しない方（5 名程度）には移動支援の利用や施設の送迎により、外出の支援をしている。 ・ 利用者の希望に沿って、本人、家族、相談支援専門員と協議したうえで、他の事業所を利用している方もいる。 ・ 強度行動障害のある方の受け入れに向けて、職員が積極的に研修に参加している。 ・ 地域の要望とご利用者が住みやすい空間づくりのすり合わせをしながら対応されていると感じた。	

- ・ 利用者目線の発表が少なく感じた。
- ・ 日中活動の選択も徐々に広がっているので、これからも継続してもらいたい。

3 地域に開かれたサービス

(評価ポイント)

- ・ 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。

評価・要望・助言

- ・ 地域住民の要望で、外窓をすりガラスにしていたが、地域住民との交流を継続的に図って、徐々に障害への理解をしていただき、将来的には外の景色が見える普通の窓に変更する努力をしてほしい（障害者の人権に関わるため）。
- ・ 地域との交流については、いくつかの良い取組案を持たれており、それらを是非とも実践してほしい。
- ・ 施設が位置している団地の地区診断や住民の声を聞きながら、団地の抱える課題を抽出し、地域住民と一緒にできる範囲でその課題解決に向けて取り組んでみてほしいかもしれないと思った。
- ・ 自治会の清掃活動や協議の場への参加を継続している。
- ・ 地域住民から、団地内に AED 設置がないため緊急時には施設の AED を使用したいという話や子供行事の餅つきに男性の協力がほしいという話があった。行事が中止になったためまだ実現はしていないものの、機会があれば参加したいという意向があり、これから少しずつ交流が生まれると思われる。
- ・ 地域住民がホームを訪れての交流はまだ実施していないが、今後取り組みたいという意向がある。
- ・ 地域側が AED を頼りにしてくれていることから、内部研修に参加してもらえれば、との発表があり、地域のことも考えられているのだと感じた。
- ・ 福祉や障害についての理解が乏しかったり、偏見もまだまだ残っていると思います。地道に地域住民との交流の機会を継続することが大事だと思います。

4 地域移行等の促進

(評価ポイント)

- ・ 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。

評価・要望・助言

- ・ 自立型のグループホームへ移行された方が一人いらっしまったとのことでしたが、積極的かつ計画的に地域以降に向けて取り組んでいる様子は感じなかった。
- ・ 短期入所については定期的に受け入れており、地域生活支援の中核的な役割を果たしていると感じた。
- ・ 年間の研修計画に沿って、職員研修を月 1 回行っている。
- ・ より自立度の高いグループホームへ移ることを希望した利用者が他のホームに移るための支援をした。
- ・ 短期入所利用者の送迎があるのはありがたいと感じた。
- ・ 内部研修を通して入居の受け入れにつながっていかれたら良いなと思った。
- ・ 前回よりも体制が整いつつあるように思いますので、今後に期待しています。

5 その他自由記載欄（全体的な感想など）

- ・ 見学时に利用者・職員がほとんどおらず、利用者の生活が全く見えなかったのが残念だった。
- ・ 今回、施設の見学をさせていただき、雰囲気を感じながら話をきけてとても良かったです。

(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	E
1 利用者の受入	
(評価ポイント)	
・ 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。	
評価・要望・助言	
・ 適切な介護・支援を提供できるよう人材確保と入社後の研修がされています。 ・ 地域で快適に過ごしていけるような工夫がされていると思いました。 ・ 職員体制確保が難しいとお聞きしたので、その点においては課題になるのではないかと思います。 ・ 共同生活の中のイベントやレクリエーションなどもよく取り組まれており、楽しみのある生活が伝わりました。 ・ 若い方から 60 歳を超えた方まで入居されており、また強度行動障害の方へのアプローチも日々考え取り組まれている。 ・ 個々の特性を理解して出来る事を見つけて役割分担もできている。 ・ 医療的ケアの必要な方、強度行動障害の方への積極的な受け入れと、その方に応じた日中活動の時間や場の提供の工夫などの対応がとても良かったです。 ・ 集団生活での他の利用者さんとの兼ね合いを見て可能であれば積極的に利用受け入れを行っている。 ・ 強度行動障害の方など、集団活動の難しい方に対して、自分でできることや集団の中で役割をもって取り組めることを積極的に作っておられるのが印象的でした。 ・ 保護者・家族の方が高齢化する中でも安心して地域の中で生活できる家としての役割が、今後ますます大きくなると思いました。	
2 支援の実施	
(評価ポイント)	
・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ イラスト付きホワイトボードや天気カードの利用など、視覚支援を取り入れることで利用者が参加しやすい工夫がなされています。 ・ 強度行動障害の方の看取りの話は、地域でここまでの支援をしてくれるのはありがたいと思った。 ・ 日中活動にも利用者に合わせた活動を取り入れたたり、職員も楽しく過ごせるような雰囲気でした。 ・ 利用者の好みや要望に応じたレクリエーションやイベントを行っておられて、利用者に寄り添った支援をされていると感じました。 ・ 医療連携もされており、訪問看護による体調管理や歯科往診など利用者様の健康などにも着目されている。 ・ 県外への外出レク（島根県アクアス）など、新たな取り組みも行われており、現状を維持するというよりも、生活の幅、利用者の方の楽しく過ごせる時間をさらに広げていくことをとても意識されていま	

- した。
- ・ 生活の様々な場面で2度手間になっても利用者さんに好みや能力により参加してもらって活動してもらっている。
 - ・ 強度行動障害のある利用者さんに役割を持ってもらい、落ち着いて過ごせるように努めている。

3 地域に開かれたサービス

(評価ポイント)

- ・ 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。

評価・要望・助言

- ・ 外出時は職員の支援に加え、移動支援や行動援護等の外部サービスも利用して積極的に外出されています。
- ・ 清掃や散歩などで外に出ていくことにより、ご近所との関りを持つことで、より良い関係作りに努められていると感じました。
- ・ 町内会への加入も行い、マルシェなどの恐竜イベントにも不定期参加されているようで、今後も継続していくことができれば、地域住民との交流の機会もさらに増えていくと思われます。
- ・ 地域の清掃活動など、地域に根差した生活の場であるために地道に取り組んでおられることが伝わりました。

4 地域移行等の促進

(評価ポイント)

- ・ 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。

評価・要望・助言

- ・ 地域の中で生活していけるよう苦慮されている様子は伝わりました。
- ・ 佐伯区の中で何か所もGHが行われていて、中核的な役割を担っていると感じた。
- ・ 初めて看取りをされた、と報告をしてくださいました。その方は強度行動障害の方とのことで、入院先の医療機関とのやりとりが非常に難しいにもかかわらず、その他にとって少しでも穏やかな環境を整えようと、スタッフで協議し試行錯誤されていることが素晴らしいと感じました。
- ・ ショートステイやグループホームの新規開設をしていき、少しでも多くの利用希望の方々を受け入れられる様に事業展開を図っている。
- ・ 公民館や学校、保育園など地域での公共的な役割を持った施設との連携や行事への参加などは、町内会と比較して連携がしやすいかと思います。

5 その他自由記載欄（全体的な感想など）

- ・ 行動障害の方の支援事例について話があった。チームで問題となっている行動に目を向け原因を考え、取り組まれたことにより問題行動が改善されたとの事。継続的に実直に行われた結果なんだと感じました。
- ・ 「自分の家族も住ませたいグループホームになろう」を基本方針に、利用者の特性に真摯に取り組んでおられる様子がうかがえました。
- ・ 看取りのお話を聞かせていただいて、誠実なご対応に感動しました。
- ・ 昨年度、課題として挙げたことも今年度取り組めるところから工夫され、達成されていることも多かったです。他事業所への訪問をされ、職員が学び直しの機会を設けておられることも印象的でした。
- ・ 児童を中心に支援をさせていただいていますが、障害の重たい方が地域に根差して活動する姿は、本人、保護者の方、支援者にとって励みになります。今後の活動も注目していきたいと思います。

(様式 3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和 6 年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	F
1 利用者の受入	
(評価ポイント)	
・ 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。	
評価・要望・助言	
・ 利用者の重度高齢化に対応していくためにも引き続き医療との連携や職員研修の充実に取り組んでいってもらえたらと思います。 ・ 困難ケースの受け入れや強度行動障害を抱えた支援の難しい方の受け入れをしっかりと行っており、素晴らしいと思います。 ・ 親御さんとの面談のために、事前に準備をしたり対応について検討を重ねるなど、行動面で配慮を要する方の対応をしておられることが伝わりました。 ・ 強度行動障害のある方の入居受け入れでとどまらず、入居後の当事者、またそのご家族に対して、外部事業所の協力も得ながら積極的にかかわることができておられる。 ・ ハード面が整っているので、身体的に重度な方の受け入れをしていただけるとより貴重な資源になると感じました。 ・ 利用者 1 人ひとりをしっかり見ているからこそ親族との面会の実現ができたのだと思いました。 ・ 強度行動障害のある方を積極的に受け入れるとともに、医療、訪看、薬局などとの連携を積極的に行い、重度の利用者の受け入れを継続していくための体制づくりにもつながっていると感じました。 ・ 前回の評価をもとに改善も見られ、頑張っておられるのを感じた。 ・ 本人とのかかわり方を変える等、行動変容への取り組みがなされています。 ・ 医療とのつながりもあるため、対応できる範囲で医療的ケアのある方も受け入れてもらえると助かる。	
2 支援の実施	
(評価ポイント)	
・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ 医療体制の弱いグループホームの中で、医療機関等との連携体制を作り、利用者や家族が安心して暮らせる環境を作られている。 ・ グループホーム内でレクリエーションを始められていますが、利用者と地域に外出をしていくことも大切なことだと思いますので、そういった活動も検討してもらいたいと思いました。 ・ 季節行事も始められ、前回評価に対しての努力も認められる。 ・ 少しでも施設外に出たり、地域と関わろうとする姿勢が見られ、評価できると思う。 ・ 医療機関や薬局など幅広い連携をされていることが印象的でした。事業所以外の視点で利用者の方を評価したり、支援することも本人の活動を広げていくきっかけになると思います。 ・ 訪問調剤があることで、スタッフや利用者の方々が安心して過ごすことができるのは精神的に大きいと感じました。	

- ・ 同法人内の各施設での取り組みの中で、日中活動への工夫などを聞いてみるのもいいのではないでしょうか。
- ・ 今回の報告では、季節の行事の実施に向けて取り組みが始まったばかりのように感じました。また、日中活動を定着させていくことも今後の課題かと思います。生活介護事業所などの日中活動の実践が参考になるかもしれません。
- ・ 利用者の希望に沿った日課が組まれています。
- ・ 精神保健福祉士の有資格者を中心に支援体制の検討がなされています。

3 地域に開かれたサービス	
(評価ポイント)	
・ 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。	
評価・要望・助言	
・ 地域に出ていくのは大変だが、ホームに来てもらうようなイベントをしたらどうでしょうか。 ・ まだ地域交流が少ないと思いますので、まずは町内会に何かできることはないか聞かれてみて、その中でできることから始めていけたらいいのではないかと思います。そういった中で職員だけでなく利用者も地域との関りが出来ていけたら地域の理解にも繋がっていくと思います。 ・ 事業所としてマンパワーについてはボランティアの利用が出来ないか検討されるのも良いのではないと思う。 ・ 挨拶や声掛け、清掃活動など地道な関係作りを今後も継続していくことも大切だと思います。 ・ 地域のイベントや行事に参加されるようになり良かったと思います。 ・ 地域とつながりを築こうとしたり、考えられていることを今後も継続してほしいと思います。 ・ 近隣からクレームが出る中で、交流を広げていく難しさはあると思うが、それでも町内神輿と一緒に応援されたり、できることから始めようとされている姿勢が感じられました。 ・ 近隣から出てくるクレームの捉え方の視点を変えて、そのクレームを自分たちだけで解決しようとし過ぎず、近隣の民生委員の方への相談のキッカケにして、地域の方とつながることもできたりはしないだろうか。 ・ 民生委員や学区社協など、福祉や障害に近い立場の方たちとの関係づくりから始めるのはいかがでしょうか。 ・ 近隣住民の多くの健常者は、日常生活において障害がある方（特に大人の知的障害者や精神障害者）と接する機会がほとんど無いため、交わることに對する不安や抵抗を少なからず持っていると思われる。障害について「知る、関わる、交流をもつ、理解する」ことの大切さと同時に、機会創出の難しさを感じる。少なくとも、障害特性から生じる行動によって、まだ交流のない近隣住民に不快感を与えてしまう事は避ける工夫が必要と思う。	

(様式3)

日中サービス支援型共同生活援助 令和6年度事業内容評価等結果

事業所（運営法人）	F
-----------	---

4 地域移行等の促進	
(評価ポイント)	
・ 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。	
評価・要望・助言	
・ 障害ある方が地域での生活を継続していくためには身近な地域の理解も大切だと思います。地域に対して今何ができるかを考えて取り組んでいてもらいたいです。	
・ 今まで入所施設や家族の支援によって、地域生活が難しかった重度の方の 24 時間安心して過ごせる居場所ができたこと自体が、大きな役割を持っていると感じます。	
・ 対応が難しい利用者に対して多職種協働を実践されていること、その積み重ねが今後地域での生活を希望される利用者にとっての一助になるのではないかと感じました。	
・ 利用者の方ができるだけ自分の力を発揮しながらホームでの生活を継続すること、ホームでのＱＯＬを高めていくことの延長に、地域での役割や活動の場が生まれていくと思います。焦らず少しずつ地域に根を張って行かれることを希望します。	
・ 施設利用者が地域に移行していくには、まず先に、施設がしっかりと地域に根付いて地域住民、地域団体と交流、連携基盤を確保することが必要だと思うので、地域行事への参加や、地域住民等に施設内を見学してもらう等、施設側からさらに積極的に地域に歩み寄っていただければ良いと思う。	

5 その他自由記載欄（全体的な感想など）	
・ 引き続き医療との連携は大切にしながらも、今後に向けては少しずつでもいいので、地域参加への取り組みを広げていただき、利用者と外出すること等を意識して、まずは地域の人にグループホームの存在を知ってもらうことで地域との関係づくりにつながると思いました。	
・ 障害者支援施設以外で障害の重たい方が住める場所（施設）は短期入所の利用か日中サービス支援型共同生活援助の入居しか有力な事業はないので、需要と期待は大きいと思います。	
・ ご利用者、職員の安心感を得るための努力もされている。	
・ 課題はまだ残っているものの、前回協議会時点からの経過をみると、医療機関との連携体制の強化、地域への関心度、施設内での行事開催など、できる事や改善していく方法を積極的に模索しながら運営されていると感じた。	
・ 以前のショートステイ対応のベットのことなどがどう変わったのか等が知りたかった。	

○各事業所の利用者状況

1 年齢

事業所	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	定員
A	1	4	2	10	2	19	19
B	3	3	6	4	4	20	20
C	3	4	2	0	0	9	10
D	8	1	2	5	2	18	20
E	6	1	0	0	0	7	8
F	2	2	2	8	5	19	20
G	1	9	6	2	0	18	20
H	8	7	4	2	5	26	28
I	4	2	2	6	4	18	20
J	0	4	3	1	1	9	9
計 (割合)	36 (22%)	37 (23%)	29 (18%)	38 (23%)	23 (14%)	163	

約40%

2 障害支援区分

区分無/1~2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0	5	9	3	2	19
0	7	9	2	2	20
0	1	1	5	2	9
1	5	6	5	1	18
0	0	0	2	5	7
0	4	8	3	4	19
2	2	4	4	6	18
1	2	6	9	8	26
0	9	5	3	1	18
0	1	6	1	1	9
4 (2%)	36 (22%)	54 (33%)	37 (23%)	32 (20%)	163

約75%

3 障害種別（重複あり）

事業所	知的	精神	身体	難病	計
A	3	15	3	2	23
B	13	2	6	0	21
C	10	2	2	0	14
D	11	8	5	0	24
E	7	0	2	0	9
F	13	5	4	0	22
G	14	2	2	0	18
H	21	2	4	0	27
I	6	10	6	0	22
J	5	4	1	1	11
計	103	50	35	3	191

4 障害特性

医療的ケア	強度行動障害	計
0	1	1
0	2	2
0	5	5
0	2	2
0	7	7
0	3	3
0	0	0
0	9	9
0	2	2
0	2	2
0	33	33

5 入所の経路※

入所施設	病院	他GH	その他	計
0	2	0	3	5
0	0	1	1	2
0	3	1	6	10
0	2	1	3	6
0	0	0	7	7
0	0	0	2	2
0	0	1	0	1
0	0	0	4	4
0	0	0	0	0
1	3	4	2	10
1	10	8	28	47

6 退所の経路※

入所施設	病院	他GH	その他	計
0	0	2	0	2
0	0	1	0	1
0	1	0	1	2
0	2	0	2	4
0	0	1	0	1
0	1	1	1	3
0	0	0	1	1
1	2	2	1	6
0	0	1	1	2
0	0	0	1	1
1	6	8	8	23

※報告書提出月の前月から起算して前1年間の実績